東洋史特殊講義2A－Ⅰ

科目ナンバリング　HAA-203
選択必修　　2単位

楯身　智志

1. 授業の概要（ねらい）

紀元前221年、秦は史上初めて中国を統一した。当時の秦王・政は「始皇帝」と名乗り、広大な中国を支配していくためのさまざまな仕組みを作り上げた。秦は間違いなく、二千年以上続く皇帝支配体制の基礎を築き上げた王朝であると言える。しかし、その秦も統一からわずか15年で滅亡してしまう。始皇帝の作り上げた仕組みは、当時の人々には受け入れられなかったのである。そしてその後は、項羽と劉邦という二人の英雄が覇権を争う中で、新しい仕組みが作られていく。その果てに、「漢民族」という言葉のルーツとなる漢王朝が生まれるのである。
本講義では、秦が中国を統一してから、漢王朝が次の天下を作り上げるまでの数年間の歴史を、最新の研究成果をもとに復元する。始皇帝や項羽と劉邦、あるいは中国前近代の歴史に興味のある学生はぜひ受講して欲しい。

2. 授業の到達目標

・秦が強国化してから漢王朝が建国されるまでの歴史を理解する
・「中国統一」という出来事について、さまざまな問題意識を抱くことができる

3. 成績評価の方法および基準

・平常点（授業態度と毎回の確認テスト）40%
・レポート60%

4. 教科書・参考文献

参考文献
藤田勝久　項羽と劉邦の時代―秦漢帝国興亡史　講談社
佐竹靖彦　劉邦　中央公論新社
佐竹靖彦　項羽　中央公論新社
楯身智志　前漢国家構造の研究　早稲田大学出版部

5. 準備学修の内容

・授業終了後、配布プリントなどを見直し、授業内容の概要について振り返るクセをつけておくこと

6. その他履修上の注意事項

・私語など、他の受講者の迷惑になるような行為は控えること
・授業内容をただ鵜呑みにするのではなく、その中から積極的に疑問点や問題点を探し出すように努めること

7. 授業内容

【第1回】　ガイダンス　＊オンライン
【第2回】　40万人を生き埋めにした男―秦の強大化と長平の戦い
【第3回】　言い訳めいた勝利宣言―秦の「中華統一」
【第4回】　秦を滅ぼしたのは極悪宦官趙高か、冷徹皇帝胡亥か―始皇帝の死と陳勝の挙兵
【第5回】　ムダに意識が高すぎた陳勝―陳勝・呉広の乱
【第6回】　「秦を亡ぼす者は必ずや楚ならん」―懐王政権の成立と巨鹿の戦い
【第7回】　遠まわりする劉邦―秦の滅亡
【第8回】　まな板の上の劉邦と自慢したい樊噲と錦を着て帰りたい項羽―鴻門の会・項羽分封
【第9回】　故郷を喪った者たち―斉・漢の反乱
【第10回】　慢心する劉邦と激昂する項羽―睢水の戦い
【第11回】　あえて背水する韓信と背水せざるを得ない劉邦―韓信北伐・滎陽攻防戦
【第12回】　ダブルバインドがもたらした結末―斉の攻略・鴻溝の和約
【第13回】　終わる戦争、始まる政争―垓下の戦い
【第14回】　韓信の軍隊を奪って皇帝になった劉邦―楚漢戦争後日談
【第15回】　総括　＊オンライン